

はーるよこい♪

2/4(水) 18:30~

低炭素のまちづくりシリーズ 第8回

「市民共同発電その後の状況」

お 話 : 津島 榮さん
(うべ環境コミュニティー)
と ころ : まちなか環境学習館
参加費 : 200円 (100エコハ進呈)

環境にも、宇部市の活性化にも有効な市民共同発電(エネルギーの地産地消)システムを提案し、皆さんと共に実現に向け考えたいと思います。

2/20(金) 18:30~ 世代間地域対話シリーズ 第8回

「こころの健康を巡る環境の変化」

お 話 : 渡邊義文さん
(山口大学 大学院医学系研究科 教授)
と ころ : まちなか環境学習館
参加費 : 200円 (100エコハ進呈)

物質的にはめぐまれた時代ですが、精神的には厳しい競争社会の中で、心に悩みを抱える人が多くなっています。精神医学の先端におられる先生に、この辺の状況について、家庭教育、思春期の情報環境の影響なども含めてお話いただき、地域や学校において、今後どのように考えていけばいいかについて、話し合いたいと思います。

宇部市まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」には、環境関連図書もある学習室(無料)、使いやすい料金のミーティングルーム(大・小)があります。お気軽にご利用、ご見学、お問合せください。

環境サロン

本年度の環境サロンもいよいよ大詰めです。ご常連の方も、初めての方も、ぜひおいでください。環境サロンは、身近な環境問題などをテーマに、みんなで気軽に学びあえる場、語りあえる場です。問合せ...0836-39-8110(銀天エコプラザ)

3/5(木) 18:30~ 里山の保全と再生シリーズ 第8回

「里海再生の取組」

～東岐波小学校のコミュニティースクールの実践例～


お 話 : 寿恵村泰生さん(東岐波里海再生の会)
と ころ : まちなか環境学習館
参加費 : 200円 (100エコハ進呈)

東岐波小学校では、地元の里海の会の方々を中心に、4年生全員が海に出て、松の植樹をしたり、干潟への湧水量の測定をしたり、大変興味深いコミュニティースクール(CS)の実践がすでに行われています。全市に先駆けた取組をお聞きして、広い意味での環境学習(ESD)を含めたCSの可能性について話し合います。

まちなか銀天おそうじ隊募集!

「まちなか銀天おそうじ隊」は、月に一度、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードなどを掃除しています。楽しくおしゃべりしながら、「まち」をちょっときれいにしませんか? 次回は2月22日(日) 15時から。まちなか環境学習館前に集合です。

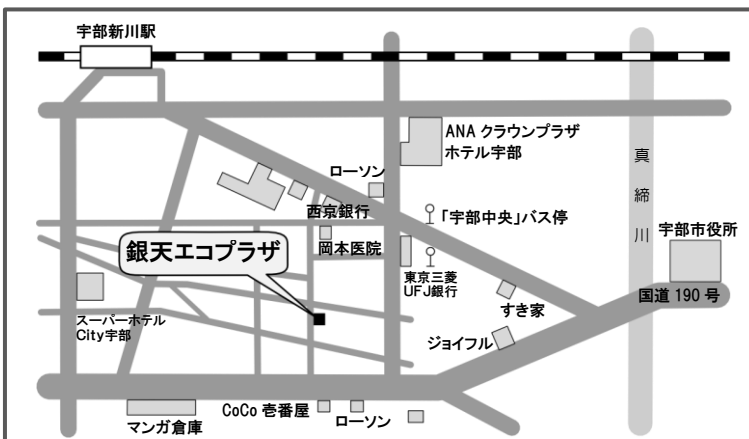
参加者には、環境地域通貨「エコハ券」2枚進呈!

宇部市環境学習ポータルサイト  「うべっくる」 <http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。facebook や Twitter へもこちらからアクセスできます。

まちなかエコ市場 3月15日(日) 10:00~15:00

さまざまな音楽のステージ。新鮮野菜や花の苗などの軽トラ市。スイーツや手作り品、子育てグッズリユースコーナーも大人気。環境関連の展示やエコ教室もありますよ。



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ
〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号
交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分
宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分
駐車場 無し(近隣の有料駐車場等をご利用ください)
TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail info@ubekuru.com
開館時間 9時~21時
休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)

・生物多様性って?!

私たちは日頃から『生物多様性』から恩恵を受けて生活をしています。例えば、私たちの生活に必要な不可欠な水の源は、豊かで多様な自然環境(いわゆる里山)に囲まれた小野湖(宇部市小野地区)にあります。小野湖周辺地域は里山に囲まれ、多様な生態系が形成されています。

その一方で私たちの生活が原因で生物多様性に危機をもたらしています。特に、私たちは、便利さを追求し、農村から都市へ移住することが多くなりました。このことにより、田んぼなどを耕作せずに放置する『耕作放棄地』が増加し、イノシシなどが農作物被害をもたらしたりしています。

小野湖周辺地域の現状は、人口の都市集中やライフスタイルの多様化により過疎化が進み、人口減少・高齢化社会を迎え、里山の荒廃が進んでいます。このままでは長い年月をかけて育まれてきた豊かな生態系が失われるだけでなく、水源地が荒廃していくおそれがあります。

宇部市では、ふるさと宇部の豊かな自然・生活環境を次世代に引き継ぐため、これまで注目されてこなかった里山の新たな経済的価値を生み出し、自然の恵みを賢く使う工夫を図るなど生物多様性保全に向けた取組を推進しています。

・生物多様性を保全する活動ってどんなもの?!

生物多様性保全活動はたくさんの種類があります。具体的には、農業体験、自然観察会、環境美化活動などです。また、身近なところでは、地元で採れた野菜やお米などを食するという地産地消も生物多様性の保全につながる大事な活動です。みなさんもこうした活動に積極的にご参加下さい。また、関連する活動を実施している団体の方も情報提供をお願いします。

〈 応援団員募集 〉

宇部市では、生物多様性保全活動に参加する生物多様性応援団を募集しています。モットーは、「無理なく、楽しく、継続して」です。みなさんの無理のない範囲で、楽しく保全活動に継続して参加していただける方や、保全活動を実施する団体を募集しています。参加ご希望の方は、下記連絡先に御連絡ください。

連絡先 宇部市役所 環境政策課 環境保全対策係
 電話:0836-34-8249
 HP: <http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/kankyouhozen/kankyokyouseitoshi/seibutsutayousei.html>

・活動紹介(一例)

農業体験…地産地消と併せて自然の恵みを体験



主催団体: 小野湖の水を守る会
 活動内容: 稲刈体験



自然観察会…自然環境に関する知識、様々な関わりを学ぶ



主催団体: 宇部山岳会
 活動内容: 市民ハイキング



主催団体: 宇部市
 活動内容: 昆虫観察会

環境美化活動会…水源地の清掃



主催団体: 宇部自然保護協会
 活動内容: 小野湖清掃活動

〈環境歳時記〉

2月2日

ラムサール条約採択(1971年)

かつて、川、湖、海と陸地の境目は定かではなくそこでは水が時には満ち、そして時には干上がるといったサイクルが繰り返される湿地があらゆるところで見られ、そこでは生命の微妙な営みが繰り広げられていた。まさに生物多様性の見本の間となっていた。

そこでは多くの小さな生物が生息し、それをまた餌とする鳥などが集まり、さらにその鳥を餌とするワシ、タカ、などの大型の鳥が集まり、獣も餌を狙ってやって来た。また渡り鳥などにとっては羽を休め、食べ物を得る重要な休息地でもあった。

しかし、そんなどこでもあった湿地に今は生活排水、工業廃水に汚染されるなど人間の経済活動によって脅かされ、多くの湿地が汚染され、土砂、ヘドロで覆われ、あるいは鉄とコンクリート、そしてアスファルトで覆われてしまい、港湾施設、工業用地、ゴミ捨て場といった無機質な場と変貌し、生き物の存在しない場となってしまっている。

世界中でそんな自然環境が激減する中、破壊されやすい重要な湿地を世界が守ることを目的に、1971年2月2日、イランのラムサールで開催された「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」で本条約が採択された。

ラムサール条約の締約国となるには、その国にある湿地の少なくとも一カ所を指定し、条約事務局にある登録簿に登録することが義務づけられている。

日本では1980年に北海道の釧路湿原が最

初の登録となった。そして現在条約湿地数は46カ所(2012年8月10日現在)で、山口県では秋吉台地下水系が2005年に登録されている。

条約に加盟している国はその湿地が登録簿に掲げられているかどうかに関わらず、湿地を保全することとしている。

ラムサール条約は、3年ごとに、条約の改正や、予算を審議したりする締約国会議を開催し、締約国政府のほか、未締約国の政府、国際機関、民間の団体の代表が出席する。締約国はこの会議開催の半年前までに、自国の登録湿地の現状をまとめたナショナルリポート提出が義務づけられている。



(館長 西村誠)